

清流 ニュース

発行所
八王子市子安町 1-22-25
清流寺
清流ニュース編集室
電話(042)646-0287(代)
FAX(042)644-1164
http://seiryuji.jp.org/

平成二十六年総祈願
佛立開導日扇聖人二生誕二百年慶讃
佛立開花運動第一年度御奉公成就
本年度自主教化誓願達成之御願
日序上人御十七回忌報恩御奉公成就
役中後継者養成、法灯相続促進

九月の御総講日

一日 十時 御修行日
七日 十時 バースデー総講
日序上人報恩祈念
十三日 十時 高祖御命日
十七日 十時 開導御命日
廿五日 十時 門祖御命日
於 清流寺
十二日 十時 高祖御速夜
十六日 十時 開導御速夜
廿四日 十時 門祖御速夜
三十日 十時 欲尊御命日
於 羽村別院

特別行事

十二日 龍口御法難記念日
一万遍口唱会
午前六時より午前中

◆秋季彼岸会総回向

廿三日 午前十時 本寺
廿四日 午前十時 別院

会議

一日 御総講後 役中会議
廿五日 御総講後 教区長会議
日 参事会

七月廿七日

本年度の開導会無事奉修

川手日成上人力強くご唱導下さる

去る七月廿七日、本年度の開導会が、第五宗務支庁長 信立寺御高職川手日成上人の唱導により、盛大に厳修されました。

川手御導師は、ご法門で、ご自身のご利益談を話されて聴衆者に感銘を与えられました。

長寿特別総講

九月七日

バースデー総講に併修

今年も九月になり、敬老の月を迎えました。

当山は、例年、九月に長寿特別総講を奉修して、長寿者



本月の御妙判

法灯相続



鳥のかひ子を養ふが如く、灯に油をそふるが如く、枯れたる草に雨のふるが如く、飢えたる子に乳を与ふるが如く、法華経の御命をつがせ給ふ事、三世の諸仏を供養し給へるにとあるなり

(上野殿御返事縮127)

「法華経の御命をつがせ給ふ」と仰せられてあるのは、つまり、法灯相続のことです。

お祖師様は佐渡流罪の赦免で、鎌倉へ帰られたのが五十三歳の春で、長年の法勞で身体も大分弱られていたのですが、あとは、弟子旦那に

を勞う催しを行っていますが、本年も、七日(日)のバースデー総講に併修されることになりましたので、該当者は、奮ってお参詣し、懇親を深めましょう。

本月の一万遍口唱会

九月十二日

午前六時より実施

本月の一万遍口唱会は、十二日の「高祖大士龍口御法難記念日」に、午前六時より午前中位までを教化必成の為に口唱会を行います。

九月の朝参詣強調週間

二日～六日

第一連合担当

九月は、第一連合担当で、元八王子教区から、八王子北教区までです。

- 九月二日(火) 元八王子教区
- 三日(水) 八王子東教区
- 四日(木) 八王子西教区
- 五日(金) 八王子南教区
- 六日(土) 八王子北教区

のように法灯相続の大切なことを仰せられたのであります。いまはそうでもありませんが、むかしは、「家名相続」と申して、子供がいけないようなとき、自分の代で、家が途絶えるのをたいへんな不名誉と思ひ、養子をとったりして、何とか家督相続を図ったという事です。

また、親の自然の人情として、子に対しては相應の財産を残してやりたいと苦勞したという事です。それも結構

だが大事なものは子孫長久を囀るなら、お金や、物よりも「法華経の信心」を残し伝える事がよいのであります。

子孫には信心のこせ金ためて地獄へおとすやうな事すと御教歌下されてあります。自分が一生懸命させて頂く日々の御信心が、そのまま子へ、孫へと伝えられてゆくので、いづれ子が家をついでゆくわけですから、法灯相続ができるよう絶えず祈ることが大切です。

高祖会 全国奉納金について

宗門三大奉納金の一つである「高祖会全国奉納金」は、本山の高祖会にお参詣させていただくつもりで奉納させていただきますことが大事です。

この奉納金は、宗門運営の資となりましてので大事な奉納金と申せます。

〆切 九月廿五日

日序上人御十七回忌報恩ご奉公御有志奉納者氏名(その五十九) (教区順。敬称略。順不同) 二十六年八月十三日現在 合計八〇三名、一、五六四口